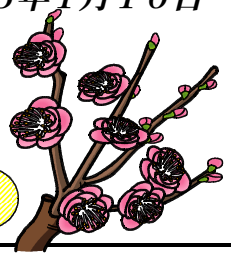
令和４年度　小中野小学校　学校だより　第１１号　　令和５年１月１６日

ちぐさ咲く　みち



竹 … しなやかな強さ 協力の強さ

校長　花生　典幸

新年明けましておめでとうございます。

皆さまにとりまして，今年がよい一年になりますよう，心よりお祈り申し上げますとともに，さらなるご支援・ご協力のほど，よろしくお願いいたします。

さて，１月１３日（金），冬休みが終わり，子どもたちの明るい元気な声が教室にあふれ，学校に活気が戻ってきました。

この冬休みは，保護者や地域のみなさまのご協力と見守りのおかげにより，大きな事故等がなく無事に終えることができました。心より感謝申し上げます。

以前の全校集会での講話で，わたしは子どもたちに『竹』の話をしました。

竹の子どもである「タケノコ」は，**一日でなんと1メートルも生長する**そうです。みなさんもこのタケノコのように，日々ぐんぐん伸びていってほしいです。

竹は背が高いわりには幹が細く，一見弱そうに見えますが，実はとても強い木です。重い雪がたくさん降ってもびくともしません。雪の重さがかかっても，折れずにやわらかく曲がり，雪がなくなったら，またバネのように元に戻ろうとします。竹がもしも“曲がらない堅い強さ”だけだったら，おそらく簡単に折れてしまうことでしょう。このようなバネのようにしなる，やわらかい力を**【しなやかな強さ】**と言います。

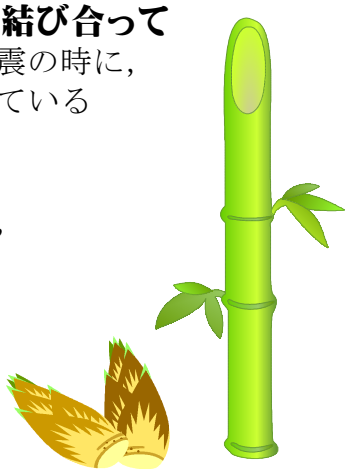
竹のこのしなやかな強さを支えているのが**「節（ふし）」**です。

実は，みなさんの毎日にも「節＝区切り」があります。毎朝，時間どおりに起きる，朝ごはんをしっかり食べる，授業のはじめと終わりに元気に声を出してあいさつをする，…… このように**一つ一つの節（節目）を大事にすることで，わたしたち人間にもリズムやけじめが生まれ，竹のようなしなやかな強さが身についていく**のです。節目も持たずに，ぼんやりとだらだら過ごしていたのでは，進歩することも成長することもかないません。

もう一つ，竹のすごいところは，根っこ（地下茎）が地面の中で全部つながっているということです。**根が手をつなぎ合うように，がっしりと強く結び合っている**のです。だから強風にさらされてもびくともしません。地震の時に，竹がたくさん生えている竹やぶの中に逃げ込むと安全と言われているくらい，竹の根，土台は強いのです。

このことを**【協力の強さ】**と呼んでもいいのかもしれません。

小中野小学校のみなさんには，紹介したこの「竹」のように，**【しなやかな強さ】と【協力の強さ】，その両方を身につけていってほしいと願っています。**

冬の寒さに負けずに，元気いっぱい楽しく学校生活が送れるよう励ましてまいります。

今年もよろしくお願いいたします。